

28年2月分

問屋、仲買・小売商の先行き動向調査

1. 調査実施期間

平成28年 2月1日～ 28年2月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の問屋、仲買・小売商に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
2月分の回答企業数は46社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)=[「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)]÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/2月	3月	4月
仕入動向	国産材	△ 9.5	1.4	0.0
	外材	△ 14.0	△ 5.8	△ 2.4
販売動向	国産材	△ 8.1	4.1	△ 4.3
	外材	△ 13.1	△ 1.2	△ 7.3
在庫動向	国産材	△ 11.4	0.0	1.5
	外材	△ 8.5	△ 8.5	△ 3.9

・製材品の仕入は、国産材は2月の減少が、3月は微増、4月は横ばい。外材は3ヵ月連続して減少。

・製材品の販売は、国産材は2月の減少が、3月微増、4月はやや減少。外材は3ヵ月連続して減少。

・製材品の在庫は、国産材は2月の減少が、3月は横ばい、4月は微増。外材は3ヵ月連続して減少。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目	28/2月	3月	4月
スギ正角(グリーン)	0.0	0.0	△ 2.2
スギ正角(KD)	△ 1.7	1.7	1.9
ヒノキ正角	0.0	1.6	1.7
ヒノキ土台角	△ 1.8	0.0	1.9
米ツガ正角(現地挽)	1.9	△ 1.9	0.0
米ツガ防腐土台角	1.9	0.0	0.0
米ツガ割物(現地挽)	2.9	0.0	0.0
米マツ平角	2.8	0.0	0.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	13.7	8.1	6.9
ホワイトウッド集成管柱	9.8	3.6	3.8
レッドウッド集成平角	△ 1.0	△ 1.0	△ 4.0
型枠合板(輸入)	△ 13.0	△ 3.8	0.0
針葉樹構造用合板	20.4	3.7	2.0
針葉樹構造用合板(厚物)	26.0	8.0	4.3

・スギ正角(グリーン、KD共)及びヒノキの価格はほぼ保合で推移。

・米ツガ及び米マツの製品価格はほぼ保合で推移。

・北洋アカマツタルキはやや強含みで推移。

・WW集成管柱はやや強含みで推移。RW集成平角はやや弱含みで推移。

・型枠合板(輸入)は2月、3月の弱含みが、4月は横ばい。針葉樹構造用合板は2月の強含みが、3月、4月はやや強含みに。